

1-9 進路の計画

進路の計画

1. 題材設定の理由

夢や希望を胸に中学へ入学して1年間が過ぎようとしている。この1年間に、その夢や希望が膨らんだりしぼんだりし、中には、将来のことを全く考えないで、進級を迎えている生徒もいる。

その中で、進級を控えて自分の進路をもう一度考え、これからの中学生生活を目的をもったものにする必要がある。

そのため、自分の夢や希望を振り返り、その実現のために「進路の計画」を立て、今後の努力目標も明確にさせ、中学生生活を意義あるものにさせたい。

2. 指導のねらい

自分の夢や希望を明確にし、進路の計画を立てる。また、その実現のための努力点を明確にさせ、今後の個人の課題にする。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・ 1-1～8までの進路学習を振り返り、P.22①に記入しておく。
本時	・ 夢や希望は、自分の特性や家族の考えも入れて具体化することが分かり、実現のために努力が必要なが分かる。
事後	・ 具体的な努力の内容を、個別に指導する。 ・ また、学級の取り組みなどに、今日の個人課題を反映させていく。

<説話例>

中学校に入学してから1年近く経ちますが、入学した時の気持ちを思い出してこの1時間を過ごした人もいます。1年生になった時、いろいろな「夢や希望」があったと思います。その夢や希望をそのままもち続けている人も、いつの間にか忘れてしまった人もいますが、今日の1時間は、夢を確認して今の自分を見直すのも目的です。自分で「進路の計画」を立てるためには、いろいろな自分の特技や、家族の考えなどいろいろな条件も考えて決めなければならないことも分かったと思います。友達から、いろいろ参考になることも聞け

たと思います。〇〇さんは自分の目的を、苦手な社会の学習を見直して、ノート作りから始めると書いていましたね。また絵が得意の△△君は、これからいろいろな掲示物を作ることで、今まで以上に得意になっていこうとしています。みなさんもいろいろ、今やっていくことや、進路の計画で見直す点があったと思います。今日から実行できるとよいと思います。

また、この学級全員でやっていく必要があるものも、いくつかありました。これから、班長会や学級会でそのことについて、いろいろな取り組みを計画していきましょう。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	<ul style="list-style-type: none"> 夢や希望の実現には、計画が必要なが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎今までの進路学習を振り返り学んだこと、分かったことについて、意見を交流する。 ・もっと多くの職業について知らなければならぬ。 ・自分のことをよく理解しないといけないことが分かった。 ・進路計画を立てることが大切であることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路の計画」の説明をする。 ・司会者に事前に説明しておく。 ・例をいくつか用意しておいて、例示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例示用の図 ・P.22①
課題：自分の将来について、夢や希望を確認し、その実現のための進路の計画を立て、仲間と交流しよう。				
中心の活動	<ul style="list-style-type: none"> 自分の進路の計画を、家族の考えや自分の特性なども考慮に入れて、作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎・P.22②『どうしたらなれるだろう。』を読んで、T君の「進路の計画」について、疑問や意見を出し合う。 ・デザイナーになれたらよいと思うけど、実際に就職試験が受からなかったら、どうするんだろう。 ・自分だけで決めているようだが、家族などに相談しなくてよいのだろうか。 ・その職業について、自分で調べているのは感心した。 ・こういう計画を作って、高校のことや、その職業について調べていくことが、必要である。 ・自分の希望の職業に就くための道すじを、しっかりと理解するのは、大切なことである。 ◎P.22②1年生の初めの夢や希望は、1-1の④を写させる。そして、今の夢や希望（職業）を記入させる。 ◎P.23③自分の進路計画を記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・T君の計画だけに、焦点がいかないようにする。 ・計画を立てる必要性を確認する。 ・計画を立てる条件を整理する。 ・具体化するための調査の必要性にも、気づかせる。 ・進路の計画が、これからの中学生の基礎・基本になることや、情報収集の選択の基準になることを踏まえながら指導する。 ・机間指導をして、個々の質問に答える。 ・今の夢や希望（職業）を必ず記入するようにする。 ・P.23③には時間をかけ、記入する方法など指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P.22② ・P.23③ ・資料編 ・県教委HPより
まとめの活動	<ul style="list-style-type: none"> 自分のこれからの努力の方向を明らかにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎班内で交流し、参考になったことや、指摘されたことをP.23④にまとめる。班長または、進路の係などが発表する。 ・その職業について、もう少し調べる必要がある。 ・家族の意見を、しっかりと確認しておいた方がよい。 ・自分の特技や好きな教科以外に、頑張らなければならないことがある。 ・「高校へ行って大学へ行く。」という単純な考えだけでなく、希望する職業に適した高校や大学を調べる必要がある。 ・その職業に合った高校へ行くために、今やっておくことは何かを、はっきりさせる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人のまとめと同時に、班長にも、班内での話し合いの結果を、発表できるように指導しておく。 ・具体的な方途が明確になるように事後指導をする。 ・不明な点と、具体的な内容が明確になっているものを、比較できるように板書したり、掲示したりする。 ・解決していくものと、実行していくものが、できるだけはっきりするようにする。 ・P.23③で記入できなかった所は、家で記入させ回収し、確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・P.23④